

# 第5回 江東未来会議

## (第2分科会：産業・生活分野)

### 次 第

日時:平成19年12月19日(水) 午後7時00分～9時00分

場所:江東区文化センター2階 旧区政PRコーナー

#### 1 開会

#### 2 事務局からの連絡事項

#### 3 ワークショップ

- (1) 区の役割と必要な施策(新しいしくみ等)の提案
- (2) 市(区)民・市民団体、事業者にできること、新しいアイデアの提案

#### 4 その他

#### 5 閉会

(配付資料)

- 第4回江東未来会議 議事概要
- 第3回・4回の議論内容の整理
- 江東未来会議提言書の作成に向けた今後の進め方について
- 江東未来会議提言書の構成(案)

	産業・消費生活グループ	コミュニティグループ	文化・観光グループ
現状および問題認識	<p>&lt;産業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*陸海空が揃う立地環境</li> <li>・「陸」：京浜、京葉の陸路流通拠点</li> <li>・「海」：国際港東京港</li> <li>・「空」：ビッグサイトやテレコムセンターなど文化、情報の発信基地</li> <li>*江東区産業の特色</li> <li>・繊維、ガラス（江戸切子）、印刷、製本、金属、機械、木材、運送、物流産業等の産業立地</li> <li>・工業団地的発想がない（店舗がバラバラ）</li> <li>・業種間、同業間の結びつきが弱く、国際競争力や特色を持った産業が少ない。</li> <li>・東陽町に情報関連産業、湾岸地域に物流関連産業が集積（今後は、IT企業と既存産業との結びつきが重要に）</li> <li>・企業が区外に出ていかないよう企業の定着化を進めていく必要がある。</li> <li>・地元中小企業の活性化も必要</li> <li>*大きな商店街が立地（深川、亀戸・大島、砂町等）</li> <li>*産学連携資源としての芝浦工大、東京海洋大学</li> </ul> <p>&lt;消費生活&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*都心にも近く、就業地と居住地の間が比較的近い。</li> <li>*消費も人口増に比例して拡大見込み。</li> <li>*銀座や日本橋など区外への消費の流出</li> <li>*高齢者や共稼ぎ夫婦の買い物利便性の向上が必要</li> <li>※契機となる出来事</li> <li>・2008年：江東ざざんかカードの運用</li> <li>・2012年？：築地市場の移転</li> <li>・2016年：東京オリンピック開催（予定）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*高齢化や災害時などもしもの時の助け合いのために、普段のつながりが大切。</li> <li>・町会は本来、コミュニティの仲介的な機能を持つべきだが、実態はそうになっていない。</li> <li>・マンション固有の問題</li> <li>一町会とマンション管理組合間の区からの情報提供等に関する格差の存在</li> <li>一町会加入に対する合意形成の難しさ（賃貸世帯の合意の難しさ、別町会の老人クラブに加入している高齢者の退会が必要等）</li> <li>*世代間・子育て世代間のコミュニケーションの場</li> <li>・プレイパークの整備により、子どもを持つ家庭同士でのコミュニケーションも図られ、様々な交流の輪が広がる。</li> <li>・プレイパークを法的に認めてもらうためには、施設内の活動と違う外での活動への評価が難しいことや、事故発生時の保険など安全対策がネックに。</li> <li>・子育てに関する情報の共有</li> <li>・学校を有意義に使いたい。</li> <li>・商店街の空いた場所に集まる場所ができないか。</li> <li>*区内施設の配置に偏在がみられる。</li> <li>・病院の適正配置も今後は必要</li> <li>*食品の安全に関連した企業の不祥事が多発</li> <li>*区内にも大学の進出がみられるが、レベルの高い講座で、区民も勉強になる公開講座がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*豊富な文化資源</li> <li>・江東区は、水や川の文化の発祥地。</li> <li>・江戸時代から着々と神社仏閣がつくられ、名所が非常に多く、重要文化財もある。これらを組み合わせて文化と観光を進めていきたい。</li> <li>*江東区の住民は、江東区を十分に理解しておらず、また、愛していないことが最も大きな問題。</li> <li>・下町の情緒・伝統を何としてでも守りたい。</li> <li>・江東区は良いところが多くあるのに、知られていない上に関心も低い。</li> <li>*区内の豊富な観光文化財を眠らせたままにせず、活かし、まちの活性化につなげる必要がある。</li> <li>・人を惹きつける観光としての価値のPRが不足している。</li> <li>・海外から来た人にもわかりやすいグローバル化に対応した環境整備が必要。</li> <li>・江東区においても、今後、産業そのものが観光であるという考え方を持つことが必要。</li> <li>・本所、深川は、向島まで含めて1つの地域を形成していたが、行政の区割りにより別の区に。</li> <li>・押上タワー（第二東京タワー）の観光客を臨海部に誘引したい。</li> </ul>
将来像	<p>【キーワード】 「陸海空」「区産区消」「学職住」</p>	<p>【キーワード】 コミュニティの基本はコミュニケーション（明るく挨拶のかわせるマンション/災害時マンション全体で助け合える/高齢化の中で、もしもの時の助け合い）</p>	<p>【キーワード】 江東区民（新住民含めて）として『江東区をもっと理解し、愛し、誇り持つ』よじにする、観光客の増加</p>
取り組みの方向性/アイデア事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>*地域の特徴にあった産業エリアの設定</li> <li>・テーマ性を持った誘致活動（都市計画の強化）</li> <li>・若い人が楽しめる産業の育成</li> <li>*主体間の関係の強化</li> <li>・商店街における中小企業・IT企業・学生との連携によるモデル的まちづくりの実践</li> <li>一仮想商店街、学生によるHPの作成等</li> </ul>	<p>（町会が本来の機能を発揮するために必要なこと）</p> <p>（世代間・子育て世代間のコミュニケーションの場づくりに必要なこと）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教育に力を入れてもらう（小・中学校から）</li> <li>・江東区教育の個性化（文化財と水彩都市）</li> <li>・江東区歴史カレンダー（年表）の作成と活用</li> <li>*区外の関心を高める</li> <li>・イベントの仕掛けを積極的に展開</li> <li>・本所・深川を合わせた案内</li> </ul>
<p>(1) どのような主体が考えられるか？</p> <p>(2) そのうち、区の役割と必要な施策（新しいしくみ等）はなにか？（=提案）</p> <p>(3) そのほかの主体（区民、関係団体、事業者等）の役割、できること、新しいアイデアはなにか？（=提案）</p>			

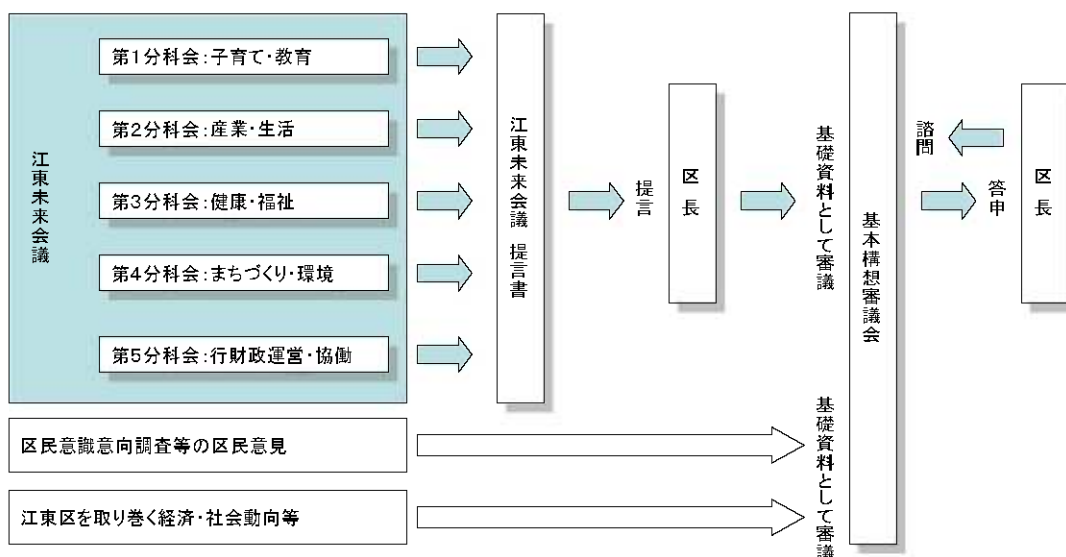
# 江東未来会議提言書の作成に向けた 今後の進め方について

## 1. 江東未来会議提言書について

### (1) 江東未来会議提言書の位置づけ

- 江東未来会議提言書（以下「提言書」）は、江東区基本構想審議会で審議する際の基礎資料の1つとして、江東区の望ましい将来像とその実現のための取り組みについて、全区的な観点から実現可能性や優先性などを意識し、区民の視点から具体性のある提案を行うために作成するものです。

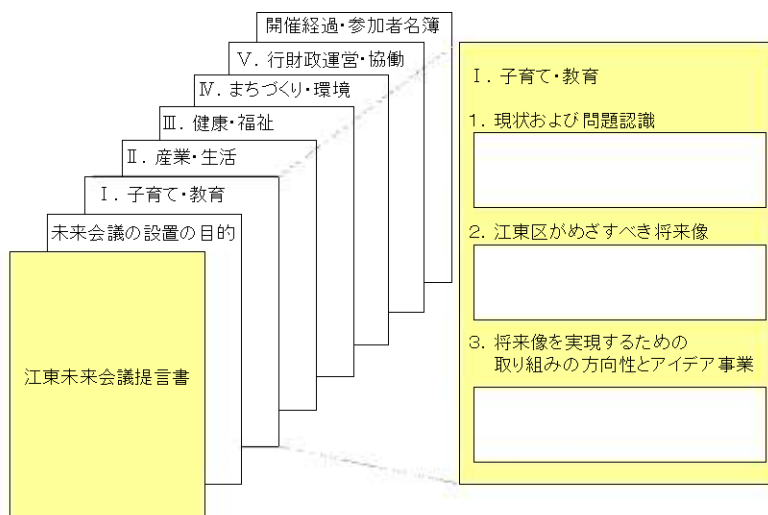
図1 江東未来会議の位置づけ（第1回会議資料再掲）



### (2) 提言書の構成

- 提言書は、各分科会の検討対象分野に沿った5つの分野で構成します。
- 各分野の内容は、「現状および問題認識」「江東区がめざすべき将来像」「将来像を実現するための取り組みの方向性とアイデア事業」の3つの共通項目に沿って、各分科会におけるこれまでの検討結果をもとに整理したものとします。

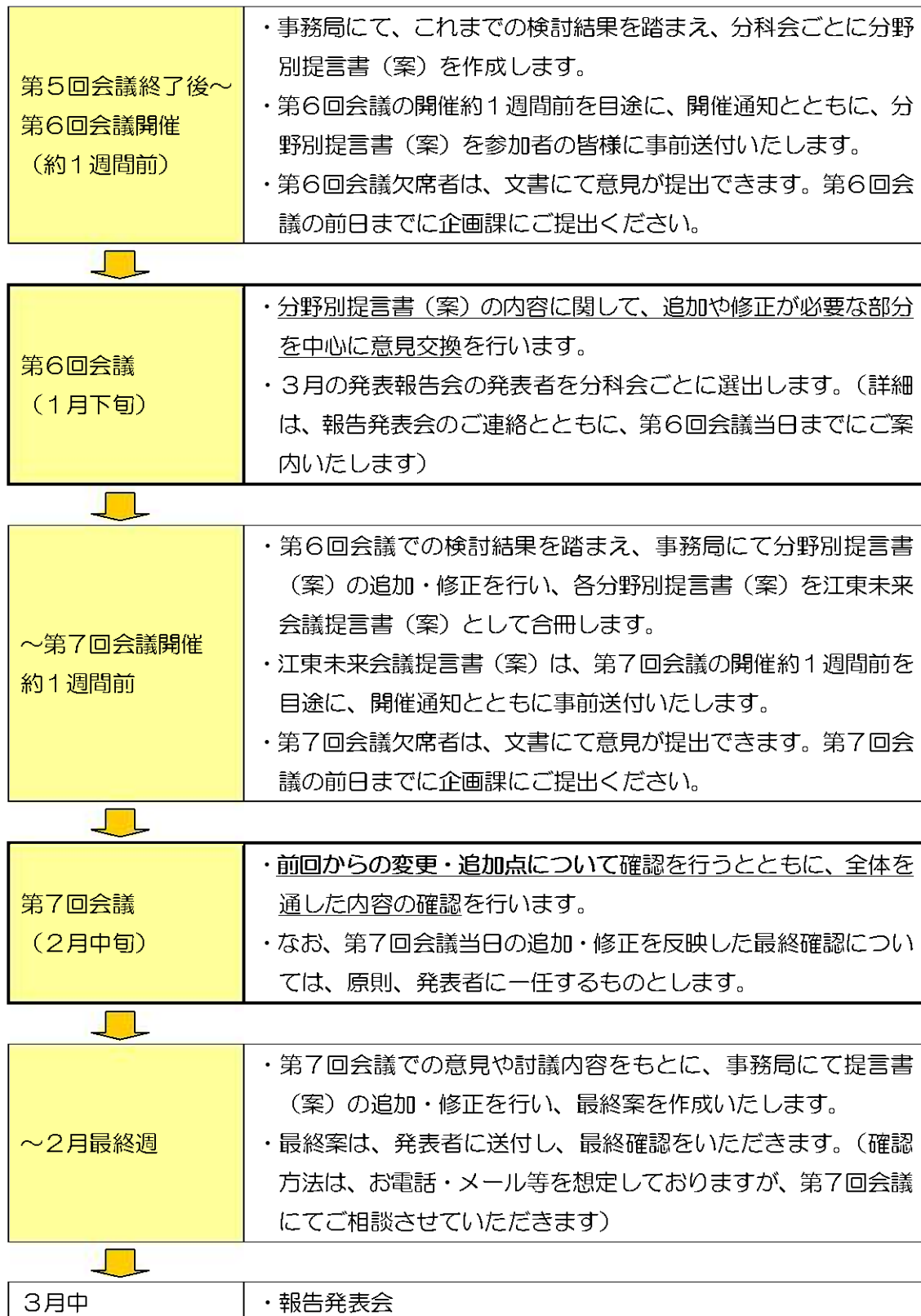
図2 提言書の構成イメージ（詳細別紙参照）



## 2. 提言書の内容確認の流れ

- ・提言書の内容は、以下の流れに沿って、分科会ごとに確認をいただきます。
- ・第7回会議終了後3月中に、提言書を広く区民に発表し周知することを目的として、報告発表会を開催します。（※報告発表会の詳細については、第6回会議までにご案内いたします）

図3 提言書の内容確認の流れ



# 江東未来会議提言書の構成（案）

## <分野別部分>

### II. 産業・生活分野

#### 1. 現状および問題認識

##### (1) 産業・消費生活

###### ■区内における区民の消費活動が少ない

- ・区民は、銀座や日本橋など区外で消費していることが多くなっている。
- ・

###### ■

- ・
- ・

##### (2) コミュニティ

###### ■世代間のコミュニケーションの場が必要

- ・
- ・

##### (3) 文化・観光

###### ■歴史ある下町と臨海部の新しいまちがある

- ・
- ・

現状および問題認識に関する論点整理結果（これまでの討議結果資料を想定）を図として適宜掲載

将来像に対応する3つ程度のテーマ毎に作成

内容を端的に目出し

これまでの検討成果のうち、現状認識（よい点／悪い点）、課題等を、箇条書きで表現

## 2. 江東区が目指すべき将来像

「～まち」で表現を統一  
(提言の冒頭に将来像の一覧  
整理を掲載します)

### (1) ～なまち

#### ～なまち

将来像の内容を5～10行  
の文章で説明

### (2) ～できるまち

#### ～できるまち

### (3) ～のまち

#### ～のまち

将来像に関する論点整  
理結果(これまでの討議  
結果資料を想定)を図と  
して適宜掲載

### 3. 将来像の実現に向けた取り組みの方向性とアイデア事業

#### (1) ~のまちを実現するために

##### ①取り組みの方向性

<input type="checkbox"/> ~を進めます
<input type="checkbox"/> ~に努めます
<input type="checkbox"/> ~を図ります
<input type="checkbox"/> ~

.....

.....

.....

.....

.....

取り組みの方向性の内容を  
5~10行の文章で説明

##### ②実現に向けたアイデア事業

<〇〇事業>

将来像の実現に向けたアイデア事業の概要（取り組み主体・取り組み内容・ねらい等）を表現します。全くの新規アイデアから既存事業の見直しまで、対象も地域コミュニティレベルから、区外を対象とした大規模なキャンペーンまで、多岐・広範に及ぶことが想定されるため、表現の様式は各部会・各将来像自由とします。ただし、全体のバランスを考慮し、各将来像で最大1頁以内に収めるものとします。

#### (2) ~のまちを実現するために

##### ①取り組みの方向性

##### ②実現に向けたアイデア事業

#### (3) ~のまちを実現するために

##### ①取り組みの方向性

##### ②実現に向けたアイデア事業